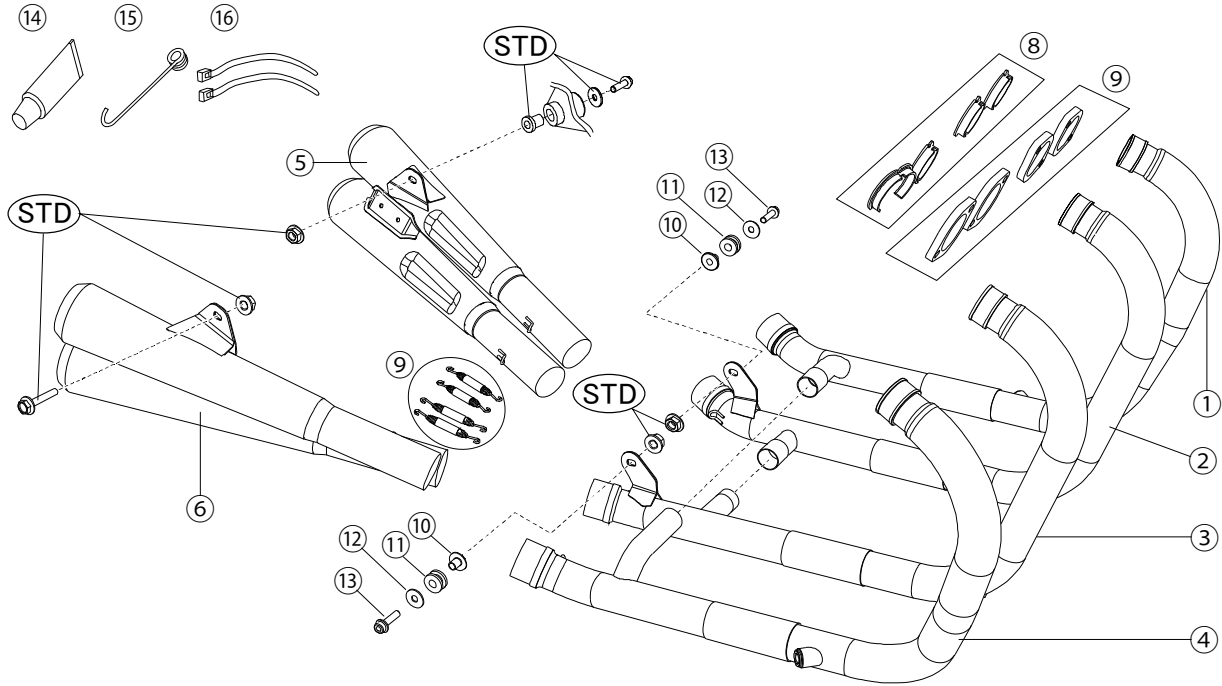


MORIWAKI RC Four Exhaust System (Black/SUS)

Honda '17CB1100EX

Parts No.01810-H01P2-R0/01810-H41P2-R0



※STD は取り外した純正パーツを再使用しますので、お手元に保管して頂くようお願いいたします。

【構成部品】

No.	部品番号	商品名	入数	単価	No.	部品番号	商品名	入数	単価
1	18110-H01P2-R0	フロントパイプ#1 (ブラック)	1	38,000	7	18112-H41G1-R0	EX.フランジ	4	2,500
	18110-H41P2-R0	フロントパイプ#1 (SUS)	1		8	18113-H01G1-00	ジョイントカラー-38	4	1,000
2	18120-H01P2-R0	フロントパイプ#2 (ブラック)	1	38,000	9	18335-90877-30	スプリングラバー有	4	690
	18120-H41P2-R0	フロントパイプ#2 (SUS)	1		10	0312-11250-F010	グロメットカラー	2	320
3	18130-H01P2-R0	フロントパイプ#3 (ブラック)	1	38,000	11	18334-KA3-830	グロメットラバー	2	280
	18130-H41P2-R0	フロントパイプ#3 (SUS)	1		12	030A-08251-5100	ワッシャー 8mm	2	70
4	18140-H01P2-R0	フロントパイプ#4 (ブラック)	1	38,000	13	972010-08030	フランジキャップホルムM8x30	2	120
	18140-H41P2-R0	フロントパイプ#4 (SUS)	1		14	860-806-0600	液体ガスケット ME30	1	600
5	18930-H01P2-R0	サイレンサー L (ブラック)	1	95,000	15	3A32-00000-00T0	スプリングブラー	1	200
	18930-H41P2-R0	サイレンサー L (SUS)	1		16	90650-35150-10	セルフロックバンド*3.5x150	2	40
6	18910-H01P2-R0	サイレンサー R (ブラック)	1	95,000	取扱説明書、排出ガス試験結果証明書				-
	18910-H41P2-R0	サイレンサー R (SUS)	1						

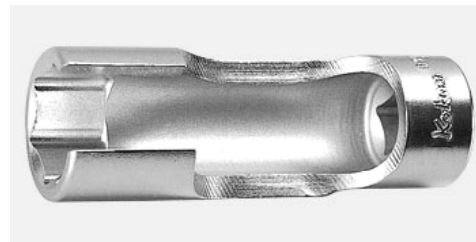
※単価は税抜きとなっております、別途消費税も必要となります。

【製品仕様】

製品名	MORIWAKI RC Four BLACK/SUS	商品重量	13.1kg
適合機種	Honda 17-CB1100EX	オイル交換	本製品脱着不要
型式	ホンダ・2BL-SC65	フィルター交換	本製品脱着不要
インジェクション	純正状態	センタースタンド	使用不可
エンジン仕様	純正状態	JMCA認定番号	JMCA4117007074
排気音量	近接:91dB/加速:81dB	その他	CB1100,CB1100RS 取付不可

【必要工具】

ソケットレンチ, スパナ, メガネレンチ	12mm	各1本
ヘキサゴンレンチ	6mm	各1本
フレアナットソケット※またはHONDA推奨工具	17mm	1本
ユニバーサルジョイント		各1本
ラジオペンチ		各1本
必要に応じ、軍手、ウエス、脱脂洗剤、各種		



フレアナットソケット

⚠ 注意

- ① 作業する際には、怪我や火傷の防止のため、軍手を着用して下さい。
- ② 作業する際には、エンジンを十分冷ましてから行なって下さい。やけどする恐れがあります。
- ③ 走行時に脱落などのトラブルが発生しないよう、各部の締め付けを十分確認して下さい。
- ④ 走行中振動によりボルト類が緩むことがありますので、定期的に増し締めを行って下さい。特に転倒後には、緩みやすくなりますので必ず点検して下さい。
- ⑤ 取り付け後、排気漏れの確認等でエンジンを始動する場合、周囲の安全を確認し、また通気の良い場所で行って下さい。
- ⑥ 車両にスイングアーム、ステップ等の改造がありますと装着できない場合があります。不正な改造によるマフラー破損等の返品はお受けしておりませんのであらかじめご了承下さい。
- ⑦ 転倒歴のある車両では、取り付けることができない場合があります。確実に取り付けることができない場合には本製品を使用しないで下さい。

【純正部品の取り外し】

車両の専用サービスマニュアルの手順に沿って、ノーマルマフラーを取り外して下さい。**センタースタンドは使用できません**ので取り外して下さい。

※部品構成表の「STD」の印がある部品は再使用しますので紛失にご注意ください。また、純正サイレンサーは重量があるので取り外した際の落下などにもご注意ください。

【取り付け準備】

- ① フロントパイプにEX フランジ(構成部品 7 番)とジョイントカラー38(構成部品 8 番)を組み付けます。

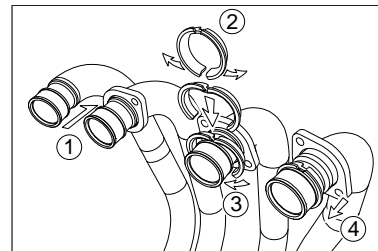


図. 1

※ 組み付けは図. 1 を参考に「EX フランジ」「ジョイントカラー38」の順で行います。
また、組み付けるフランジには向きがありますので注意して下さい(図. 2)

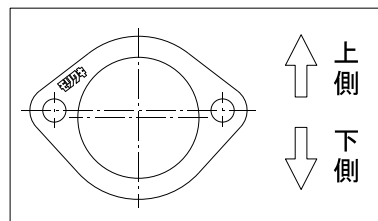


図. 2

- ② センタースタンド取り付け穴にグロメットラバー(構成部品 10 番)とグロメットカラー(構成部品 11 番)を取り付けます。

※ グロメットカラーは車体内側から挿入します(図. 3)



図. 3

【製品の取り付け】

① 各パイプ差込口の内側にあらかじめ液体ガスケット ME30(構成部品 14 番)を適量塗布しておきます(図. 4)

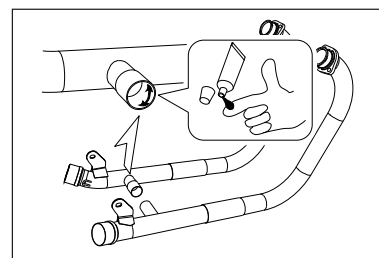


図. 4

② フロントパイプ#2 と#3(中央の 2 本)から車体へ仮組みします。

※ EX フランジには向きがありますので注意して下さい(図. 2)

③ フロントパイプ後方のパイプステーを仮組みします(図. 5)

※ センタースタンド取り付け穴に到着したグロメットにボルト、ワッシャー(構成部品 12・13)、ナット(STD)を使い車体内側から固定します。

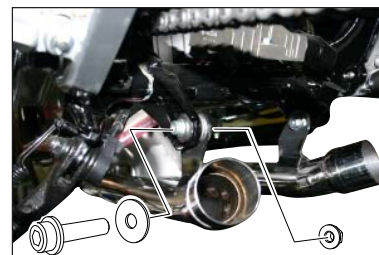


図. 5

④ フロントパイプ#1 と#4(外の 2 本)を車体へ仮組みします。

⑤ サイレンサーの仮組をします。

※組み付けには、純正のボルト類を再使用します。

⑥ サイレンサーとフロントパイプをスプリング(構成部品 9 番)で固定します。

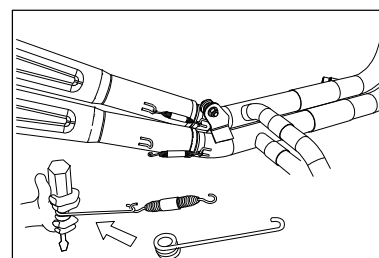


図. 6

⑦ O2 センサーをフロントパイプ#1、#4 に取り付けます。

※必要に応じてセルフロックバンド(構成部品 16 番)を使用して O2 センサーのハーネスを固定して下さい。

【取り付け仕上げ】

① ボルト、ナットの本締めをします。

※以下の順序で本締めしていきます。

- ・EX フランジ袋ナット M8 締め付けトルク(22[N・m]/2.2[kgf・m])
- ・フレーム下パイプステー M8 締め付けトルク(22[N・m]/2.2[kgf・m])
- ・サイレンサステー M8 締め付けトルク(22[N・m]/2.2[kgf・m])

② 左側のマフラーとドライブチェーンのクリアランスを確認します。



マフラーの構造上ドライブチェーンとのクリアランスが近くなります。

必用に合わせて常に注意して張りの状態を調整してください。

③ 各ボルト、ナット類の締め忘れは無いか再確認し、エンジン始動前にマフラー全体を脱脂してください。脱脂しないとマフラー表面の焼け色にムラができる恐れがあります。

④ エンジンを始動後、各部の排気漏れが無い事を確認します。



エンジン排気ポート部分からの排気漏れがある場合は、今一度各部の締付けを緩め、エンジンポートに的確になじむように締付けなおします。



エンジン始動後 15 分程度は慣らし運転を行って下さい(吸音材の慣らし)。この時、白い排気ガスや、サイレンサーの水抜き穴から水蒸気等が出る場合がありますが、性能上問題ありません。



車検時の音量測定は、車体を直立させて行ってください。

サイドスタンドを使用した姿勢での音量測定では、車体が傾き左側サイレンサーと地面が近づく事により、本来の音量より大きく計測される場合があります。

【セッティングについて】

モリワキストリート用マフラーは、すべてスタンダードの状態では性能が発揮されるように設計されていますのでマフラー装着にともなうインジェクションなどのセッティングの必要はありません。万が一、マフラー交換に伴う性能悪化が見られるなら、まずエアクリーナーやプラグ等を整備してもう一度確認して下さい。

【JMCA について】

全国二輪車用品連合会(JMCA)は、違法改造部品問題が直接の設立動機となり、警察庁をはじめ、国土交通省の指導もと不法製品一掃とその製品に歯止めをかける活動をしています。

「JMCA 認定プレート」にて認可されたマフラーは、(財)日本車輛検査協会の公認検査を受け法規制値をクリアしたうえ、安全をみこした自主規制をも合格した製品です。

車検の際は、付属の排出ガス試験結果証明書が必要となりますので持参して下さい。

【メンテナンスについて】

マフラーボルトの緩み、排気漏れ、転倒による取り付け不良などを定期的に点検して下さい。
走行による汚れは、市販のピッチクリーナー等をご使用下さい。

同封の排出ガス試験結果証明書は、走行時にご携帯下さい。

本説明書は保管し、メンテナンス等の機会に活用するようにして下さい。

製品上の問題点、取り付け時の不明点等がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

記載内容、価格、仕様等は、製品改良のため、予告なしに変更する場合があります。

株式会社モリワキエンジニアリング

〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町 6656-5

Tel 059-370-0090 Fax 059-370-0152

Home Page <http://www.moriwaki.co.jp>